

流域治水の自分事化に向けた 取り組み計画について ～令和6年度時点～

令和7年3月13日

吉野川流域治水協議会

吉野川下流大規模氾濫に関する減災対策協議会

吉野川中流大規模氾濫に関する減災対策協議会

吉野川水系流域治水協議会(令和6年度の取組み計画)

流域にも視野を広げる(自分のためにも、みんなのためにも)

吉野川流域の思いをつなぐ

- 上下流交流会の開催
- 川と人をつなぐ取り組み(NPO法人等)
- 吉野川を舞台にしたイベントの開催(NPO法人等 1回 5万人)

連携活動

- 県内市町村と大学、自主防災との危機管理に関するワーキング会議の実施(徳島県)
- 行政と県内メディアの連携(国)

流域治水の広報

- 防災パネル展を実施(国、3市4町、(徳島市、美馬市、吉野川市、北島町、つるぎ町、石井町、上板町))
- イベントにおけるPR活動
- 土砂災害防止月間の広報(関係機関等でのポスター掲示、のぼり旗・横断幕・懸垂幕の設置、パネル展等)(国、徳島県)
- OURよしのがわで啓発活動を実施(国 6回)
- 広報誌を活用した防災活動実施状況の住民周知(藍住町 4回、上板町 3回、鳴門市 3回)
- Webサイトにおける洪水時避難に役立つ情報、流域治水協議会・減災対策協議会の取組みについての掲載(国)
- 流域治水キャラバンの実施(徳島県、24市町村)
- 流域治水パンフレットの作成(徳島県)

教育活動

- 吉野川現地(フィールド)講座、吉野川流域講座の開催(国 2回程度)
- 水系内小学校を対象に防災教育を実施(国、三好市)
- 自主防災組織等からの依頼による防災研修会、出前講座(上板町 4回、鳴門市 20回 600人)
- 防災出前授業(学校等)や防災出前講座(地域の自治会等)を実施(徳島県)
- 中学生等を対象としたダム役割・重要性に関する学習会の実施(国、水資源機構)
- 放流警報周知会の開催(国、水資源機構)
- 自治体等の防災担当者に向けた気象防災ワークショップの開催(気象台)
- 各上流ダムによる、首長や地元自治体に対する個別説明の実施(国、水資源機構)

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表
- 避難判断に資する水害リスクを踏まえた「洪水の勤どころ」作成
- 防災マップの作成、配布、洪水土砂災害ハザードマップの配布
- 危機管理型水位計の機器更新(国 12箇所)
- 山地災害危険地区情報(高知県防災マップ)の更新(高知県林業振興・環境部)
- SNSを活用した水位等のリスク情報の発信(国、徳島県、藍住町)
- 洪水予報河川で「緊急速報メール」サービスを活用(14市町村)
- 地域情報チャンネルの開設による水害リスク情報の周知(石井町)
- 浸水想定水面高のマーキングによる危険箇所のみえる化(石井町)
- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域の指定、公表(高知県管理区間)
- 防災気象情報をリアルタイム(テレビ会議)で自治体向けに提供(気象台)
- 市町村防災対応に資するよう適宜ホットラインを実施(気象台)

訓練活動

- 排水ポンプ車操作訓練(国 1回 8業者 各5~6人、美馬市 1回 5人程度)
- 水防工法技術講習会(国 2回)
- 住民参加型の土砂災害避難訓練(国 1回 30名程度)
- 市民総合防災訓練(徳島市)
- 住民参加型の避難訓練を実施(上板町 1回)

水防活動の支援

- 水防団との訓練を実施(国、徳島市、つるぎ町)
- 河川協力団体・水防協力団体の指定(9団体)
- 重要水防箇所の合同巡視(国、徳島市、石井町、鳴門市、上板町、美馬市)
- マイ・タイムラインの作成支援(鳴門市・国)

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」の取り組みを推進(徳島県)
- 農業用ため池浚渫事業の活用による支援(徳島県)

計画策定

- 防災指針(立地適正化計画)の作成・公表
- 要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進(洪水:1, 492施設)
- 水害対応タイムラインの作成促進(14市町村)
- 「洪水タイムライン」の運用(徳島県)
- 地すべり地集落における地区防災計画の策定検討(大豊町)
- 避難確保計画作成推進事業を活用した支援(徳島県)
- とくしま流域水管理計画の策定推進(徳島県、藍住町、美馬市、三好市)
- かわまちづくりの推進

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組むことができるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

吉野川水系流域治水協議会(令和6年度の取組み計画)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

吉野川流域の思いをつなぐ

- 上下流交流会の開催①
- 川と人をつなぐ取り組み②
(NPO法人等)
- 吉野川を舞台にしたイベントの開催③
(NPO法人等 1回 5万人)

連携活動

- 県内市町村と大学、自主防災組織との危機管理に関するワーキング会議の実施(徳島県)④
- 行政と県内メディアの連携(国)

流域治水の広報

- 防災パネル展を実施(国、3市4町、(徳島市、美馬市、吉野川市、北島町、つるぎ町、石井町、上板町))⑤
- イベントにおけるPR活動⑥
- 土砂災害防止月間の広報(関係機関等でのポスター掲示、のぼり旗・横断幕・懸垂幕の設置、パネル展等)(国、徳島県)⑦
- OURよしのがわで啓発活動を実施(国、6回)⑧
- 広報誌を活用した防災活動実施状況の住民周知(藍住町 4回、上板町 3回、鳴門市 3回)⑧
- Webサイトにおける洪水時避難に役立つ情報、流域治水協議会・減災対策協議会の取組みについての掲載(国)
- 流域治水キャラバンの実施(徳島県、24市町村)
- 流域治水パンフレットの作成(徳島県)



①上下流交流会の開催



②川と人をつなぐ取組(NPO法人等)



③吉野川を舞台にしたイベントの開催(NPO法人等)



④自主防災組織とのワーキング会議(徳島県)



⑤防災パネルによる啓発(北島町・徳島市)



⑥イベントにおけるPR活動(国)

⑦土砂災害防止月間の広報(国、徳島県)



⑧広報誌を活用した情報発信(国、上板町)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

吉野川水系流域治水協議会(令和6年度の取組み計画)

流域にも視野を広げる(自分のためにも、みんなのためにも)



⑨防災教育の実施(三好市)



⑩自主防災組織からの依頼による防災講座(鳴門市)



⑪放流警報周知会(国、水資源機構)

教育活動

- 吉野川現地(フィールド)講座、吉野川流域講座の開催(国、2回程度)
- 水系内小学校を対象に防災教育を実施(国、三好市)⑨
- 自主防災組織等からの依頼による防災研修会、出前講座(上板町 4回、鳴門市 20回 600人)⑩
- 防災出前授業(学校等)や防災出前講座(地域の自治会等)を実施(徳島県)
- 中学生を対象としたダムの役割・重要性に関する学習会の実施(国、水資源機構)
- 放流警報周知会の開催(国、水資源機構)⑪
- 自治体等の防災担当者に向けた気象防災ワークショップの開催(気象台)⑫
- 各上流ダムによる、首長や地元自治体に対する個別説明の実施(国、水資源機構)

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表
- 避難判断に資する水害リスクを踏まえた「洪水の動どころ」作成
- 防災マップの作成、配布、洪水土砂災害ハザードマップの配布
- 危機管理型水位計の機器更新(国 12箇所)
- 山地災害危険地区情報(高知県防災マップ)の更新(高知県林業振興・環境部)⑬
- SNSを活用した水位等のリスク情報の発信(国、徳島県、藍住町)⑭
- 洪水予報河川で「緊急速報メール」サービスを活用(14市町村)
- 地域情報チャンネルの開設による水害リスク情報の周知(石井町)⑮
- 浸水想定水面高のマーキングによる危険箇所のみえる化(石井町)
- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域の指定、公表(高知県管理区間)
- 防災気象情報をリアルタイム(テレビ会議)で自治体向けに提供(気象台)
- 市町村防災対応に資するよう適宜ホットラインを実施(気象台)

訓練活動

- 排水ポンプ車操作訓練(国 1回 8業者 各5~6名、美馬市 1回 各5名程度)
- 水防工法技術講習会(国 2回)
- 住民参加型の土砂災害避難訓練(国 1回 30名程度)
- 市民総合防災訓練(徳島市)
- 住民参加型の避難訓練を実施(上板町 1回)



⑫気象防災ワークショップの開催(気象台)



⑬山地災害危険地区情報の更新(高知県)



⑭SNSを活用した水害リスク情報の周知(国、徳島県、藍住町)



⑮地域情報チャンネルによるリスク周知(石井町)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

吉野川水系流域治水協議会(令和6年度の取組み計画)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)



⑯水防団との訓練(国、1市2町)



⑰重要水防箇所の合同巡視(国、3市2町)



⑳洪水タイムラインの運用(徳島県)



㉑とくしま流域水管理計画の策定推進(徳島県、三好市)

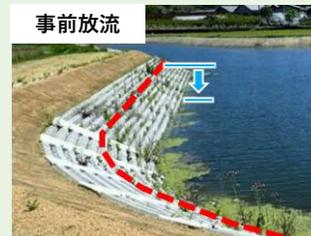
(参考:河内谷川流域水管理計画 ※R5年度策定)



⑱田んぼダムの取組推進(徳島県)



低水位管理



事前放流

⑲農業用ため池浚渫事業の活用による支援(徳島県)

水防活動の支援

- 水防団との訓練を実施⑯(国、徳島市、つるぎ町)
- 河川協力団体・水防協力団体の指定(9団体)
- 重要水防箇所の合同巡視(国、徳島市、石井町、鳴門市、上板町、美馬市)⑰
- マイ・タイムラインの作成支援(国)

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」の取組みを推進(徳島県)⑱
- 農業用ため池浚渫事業の活用による支援(徳島県)⑲

計画策定

- 防災指針(立地適正化計画)の作成・公表
- 要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進(洪水:1,492施設)
- 水害対応タイムラインの作成促進(14市町村)
- 「洪水タイムライン」の運用(徳島県)⑳
- 地すべり地集落における地区防災計画の策定検討(大豊町)
- 避難確保計画作成推進事業を活用した支援(徳島県)
- とくしま流域水管理計画の策定推進(徳島県、藍住町、美馬市、三好市)㉑
- かわまちづくりの推進

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

流域治水に取り組む主体が増える

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組むがられるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎吉野川流域の思いをつなぐ 地域 企業 団体 </p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 </p> <p>◎連携活動 地域 個人 </p>	<p>NPO法人等による川と人をつなぐ取り組みの実施</p>	<p>広報誌、Webサイト、防災パネル展等を活用した取り組み状況の啓発・周知</p> <p>土砂災害防止月間の広報</p>		
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎教育活動 地域 個人 団体 </p> <p>◎訓練活動 企業 </p>	<p>浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表</p> <p>防災マップの作成、配布、洪水土砂災害ハザードマップの更新・配布</p> <p>危機管理型水位計の機器更新</p> <p>「緊急速報メール」、SNS、地域情報チャンネル等を活用した水害等リスク情報の発信</p>	<p>吉野川現地（フィールド）講座、吉野川流域講座、出前講座を通じて流域治水の取り組みを説明</p> <p>自主防災組織、自治体等からの依頼による防災出前講座、ワークショップの開催</p>		
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 個人 企業 団体 </p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>防災指針（立地適正化計画）の作成・公表</p> <p>要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進</p> <p>水害対応タイムラインの作成促進</p> <p>「洪水タイムライン」の運用</p> <p>とくしま流域水管理計画の策定推進</p> <p>かわまちづくりの推進</p> <p>「田んぼダム」の取り組みを推進</p> <p>農業用ため池浚渫事業の活用による支援の実施</p> <p>重要水防箇所の合同巡視</p> <p>水防団との訓練を実施</p> <p>マイ・タイムラインの作成支援</p> <p>指定緊急避難場所の指定</p>	<p>地すべり地集落における地区防災計画の策定検討</p>		